-	□ 種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
17 た	堤体工	基準高(V)	±., 65	.± 100	線的なものについては 施工延長おおむね 20m につき 1 箇所の割合で 測定する。
め池		堤幅(₩)	天端幅、 小段幅等 65 (鋼土 + 300、 0)	100	上記未満は2箇所測定 する。
改修工		法長(L)	· . 65	100	
事		施工延長		200	
	洪水吐工	基準高(V) 幅(B) 厚さ(T) 高さ(H) 中心線のズレ(e)	± 20 ± 20 ± 13 ± 20 直線部 ± 35 曲線部 ± 65	± 30 ± 30 ± 30 ± 30 ± 30 直線部 ± 50 曲線部 ± 100	基準高、幅、厚さ、高さ、 中心線のズレについて は施工延長1スパンに つき1箇所の割合で測 定する。 箇所単位のものについ ては適宜構造図の寸法 表示箇所を測定する。
		スパン長 (L)	直線部 ± 13 曲線部 ± 20	直線部 ± 20 曲線部 ± 30	
		施工延長 (又は長さ)		150	

	\	15		
管理図表に 管理図表に	理 方	式 構造図に朱		
よるもの	紀未一見衣 によるもの	間に発送した。	 測 定 箇 所 標 準 図	摘要
(様式 2-1、	(様式 3-1)	るもの	M) I-i) 🗴
2-2)	(131200)			
基準高、堤	左記のもの	左記のもの		1 鋼土の幅は
幅、法長で	で20点未満	で箇所単位	G	盛土高 1m
20 点以上の	のもの及び	のもの	Ç ; W ₁	毎に管理す
もの	施工延長		V	る。
			W. L.	2 測定は原則として、水
			W ₂ L ₁	平距離とす
				るが、法長
			L ₂	の場合は斜
				距離とす
			, ,	る。
				3 出来形測定 と写真は同
				一箇所で行
				う。
				4 出来形図は
				横断図面を
				利用して作 成する。
				132 9 00
基準高、幅、	左記のもの	箇所単位の		スパン長の標
厚さ、高さ、	で20点未満	構造物につ	<u>q</u>	準を9mとし
中心線のズ	のもの及び	いて、基準	e :	た場合。
レ、スパン長で20点以	施工延長	高、幅、厚さ、高さ	→ 	
上のもの		C. DC	$\begin{vmatrix} T_1 \\ + \end{vmatrix} $	
			T ₃	
			$\begin{bmatrix} T_4 \end{bmatrix}$ $\begin{bmatrix} T_5 \end{bmatrix}$	

-	工 種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
17 た	同上付帯構造物(土砂吐ゲート等)	基準高(٧)	, ± v, 20	, ± v, 30	基準高、幅、厚さ、高さ、 中心線のズレについて は施工延長 10mにつき 1 箇所の割合で測定す
め池		幅(B)	.+ 20 13	20	る。 ジョイント間隔につい ては、1本毎に測定す る。
改修		厚さ(T)	.+ 20 13	7. 20	箇所単位のものについ ては適宜構造図の寸法 表示箇所を測定する。
事		高さ(H)	.± 13	7. 20	
		中心線の ズレ(e)	直線部 ± 35 曲線部 ± 65	直線部 ± 50 曲線部 ± 100	
		施工延長		150	

管	 理 方	式		
管理図表に よるもの (様式 2-1、 2-2、3-4)	結果一覧表 によるもの (様式 3-1、 3-4)	構造図に朱 記、併記す るもの	測定箇所標準図	摘要
基厚中レン20も	左20の の に の に の た た 及 長	簡構で、、「「「「「」」」である。 「「」では、「は、「」では、「は、「は、「」では、「は、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、 は、 は	$\begin{array}{c} B_1 \\ \hline \\ B_2 \\ \hline \end{array}$	1 2 3 4 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1